

学生の未来思考を促す 授業科目の開発 —未来思考リテラシーとは?—

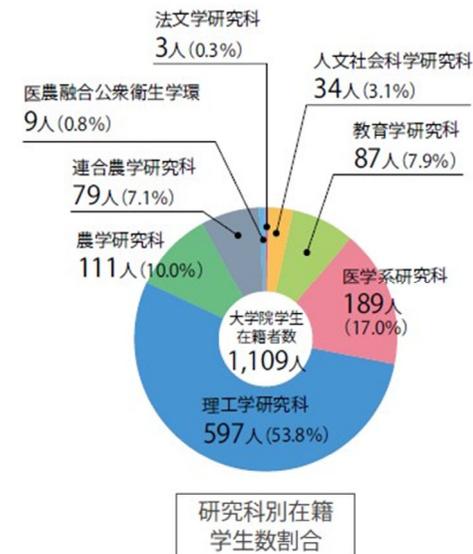
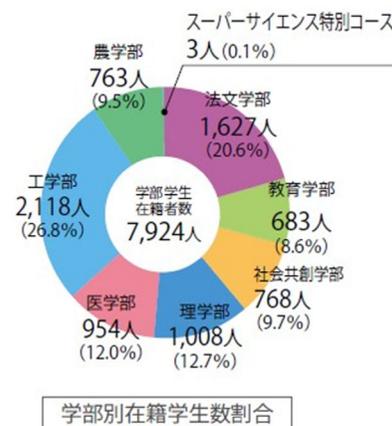
愛媛大学教育・学生支援機構

教育企画室

上月翔太

kozuki.shota.vc@ehime-u.ac.jp

愛媛大学について



愛媛大学「統計情報(令和4年5月1日)」
<https://www.ehime-u.ac.jp/about/statistics/>

愛媛大学の方向性

- 第4期中期目標期間に目指すべき方向性
 - 「自立・協働し未来を切り拓く人材の輩出」

「自立・協働し未来を切り拓く人材の輩出」

教育・
学生支援

- ◆ 「愛大学生コンピテンシー」で示された汎用的能力と専門分野で身につけるべき能力を習得できる体制を強化し、志を持ち未来を切り拓くことができる自立した人材を輩出
- ◆ 働き方の多様化に向けて、さまざまな目的を持って入学する学生に対して、進捗しつつあるデジタル技術を活用し、個別最適化された教育を実施

愛媛大学 × SDGs 持続可能な社会の実現を目指して



愛大学生コンピテンシーの改正

- 2023年7月に改正
- 本発表にかかわる改正点
 - V 組織や社会を牽引する能力
 - 【具体的な力 10】
 - 地域や国内外の課題に関心をもち、よりよい未来に向けて貢献できる

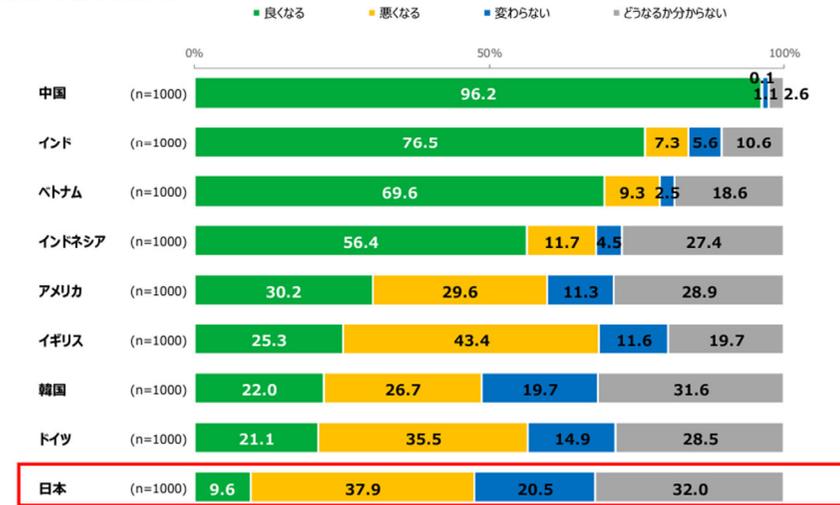
議論の射程は近未来

- 多くの議論は近未来に向けられている
 - SDGs
 - 「2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標」
 - IPCC第6次評価報告書
 - 気候変動対策の効果が出るには20年程度かかる見込み



社会の将来への思い

Q3 自分の国の将来についてどう思っていますか。(各国n=1000)
※「良くなる」スコアが高い順



日本財団(2019)「18歳意識調査「第20回—社会や国に対する意識調査—」要約版

変化の担い手としての意識

Q1 あなた自身について、お答えください。(各国n=1000)
(※各設問「はい」回答者割合)

	自分を大人だと思う	自分は責任がある社会の一員だと思う	将来の夢を持っている	自分で国や社会を変えられると思う	自分の国に解決したい社会課題がある	社会課題について、家族や友人など周りの人と積極的に議論している
日本 (n=1000)	29.1%	44.8%	60.1%	18.8%	46.4%	27.2%
インド (n=1000)	84.1%	92.0%	95.8%	83.4%	89.1%	83.8%
インドネシア (n=1000)	79.4%	88.0%	97.0%	68.2%	74.6%	79.1%
韓国 (n=1000)	49.1%	74.6%	82.2%	39.6%	71.6%	55.0%
ベトナム (n=1000)	65.3%	84.8%	92.4%	47.6%	75.5%	75.3%
中国 (n=1000)	89.9%	96.5%	96.0%	65.6%	73.4%	87.7%
イギリス (n=1000)	82.2%	89.8%	91.1%	50.7%	78.0%	74.5%
アメリカ (n=1000)	78.1%	88.6%	93.7%	65.7%	79.4%	68.4%
ドイツ (n=1000)	82.6%	83.4%	92.4%	45.9%	66.2%	73.1%

日本財団(2019)「18歳意識調査「第20回—社会や国に対する意識調査—」要約版

「未来思考リテラシー」概要

未来思考支援科目群「未来思考リテラシー」構想

授業の基本方針

- ①自分ごととして未来に対峙する必要性の認識を高める
- ②多様な世界(社会、環境)を俯瞰する視野の拡大を図る
- ③専門の学びの社会的な意義を考える機会とする

未来思考リテラシーとは

未来を見据えながら現代を捉え、望ましい未来についてイメージを描きながら、それに向け他者と行動し、新たな価値の創造を行う能力

授業の概要とキーワード

全8回の授業を「未来思考のアプローチ」「未来のための行動の指針」の2部に分類して実施
各回にコメント課題、キーワードの多肢選択試験などを課し、学期末にはレポート課題を予定

未来思考のアプローチ

- 未来 futures**
導入として未来とは何かを改めて考える機会とする
キーワード:複数形の未来、Society5.0、未来像、コミュニティ、持続可能性、地球環境
- 予測 foresight**
様々な兆しから未来の社会の動向を捉える
キーワード:フォーサイト・ダイヤモンド、兆候、データ、現代の表現、歴史、ヤヌス・コーン、シミュレーション、「未来カルテ」、'仮想将来人」
- 創造 creation**
こうあってほしいという未来を作り上げる
キーワード:イノベーション、模倣、SCAMPER法、デザイン思考、アート思考、アナロジー、フィクション、プロトタイプング

未来のための行動の指針

- 協働 collaboration**
多様な他者との関係構築の方法を考える
キーワード:認知的多様性、チームビルディング、合意形成、コミュニティ形成、ロゴス/パトス/エートス
- 倫理 ethics**
ルールがない新しい事態にあって、守るべきもの、尊重すべきものは何かを考える
キーワード:世代間倫理、環境倫理、科学技術社会論、倫理的リーダーシップ
- 行動 action**
実践を促すための心構えと未来思考の高め方考える
キーワード:心理的資本、勇気、レジリエンス、経験学習、対話

未来思考リテラシーのポイント

- 複数形の未来 (futures)
 - 未来のさまざまな可能性に気づくことが大切
 - 創造や妄想というアプローチの有効性
- 思考から行動へ
 - 考えるだけではなく、行動に結びつける
- 大学での学びとして
 - 2年次以降の専門的な学びを踏まえる
 - 他分野の知への関心を高める
 - 初年次教育からの展開も視野に入れる
- 自分や社会を俯瞰できる視点
 - 社会の中の自分のあり方を確かめ変容する

「未来思考リテラシー」開講に向けて

- 訪問調査
 - 「フューチャー・デザイン」(西條辰義先生)
 - 「未来ワークショップ」(倉阪秀史先生)

Voros「未来錐」(Future Cone)

- さまざまな未来像
 - Preposterous (不可能)
 - Possible (起こる可能性が否定できない)
 - Plausible (起こり得る)
 - The 'Projected' (最も起こりうる)
 - Probable (現在のトレンド)
 - Preferable (起こることが望まれる)

環境学の視点

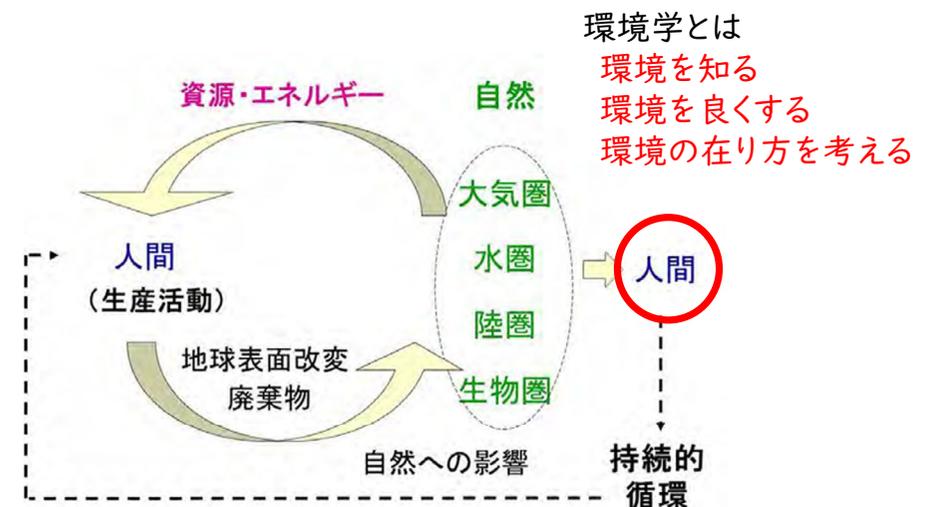


図1 人と自然の相互作用

ユネスコ「Futures Literacy」



<https://en.unesco.org/futuresliteracy/about>

ポパー「フォーサイト・ダイヤモンド」

- 「創造性」「専門性」「対話」「エビデンス」の4つの知識の種類に対応するように、未来へのアプローチ方法を整理した図

「未来思考リテラシー」

• 開講形態

- 全8回1単位科目
- 2023年度入学生より必修
- 各学部2年次以降に履修
- 完全オンデマンド
 - 動画視聴、教材講読、課題、最終レポート

• 試行版の実施

- 2022年9月と2023年1月に実施
- 高年次教養科目で選択科目
- これまでにおおよそ300名近くの受講
- 2023年9月にも開講(210名ほどの受講)

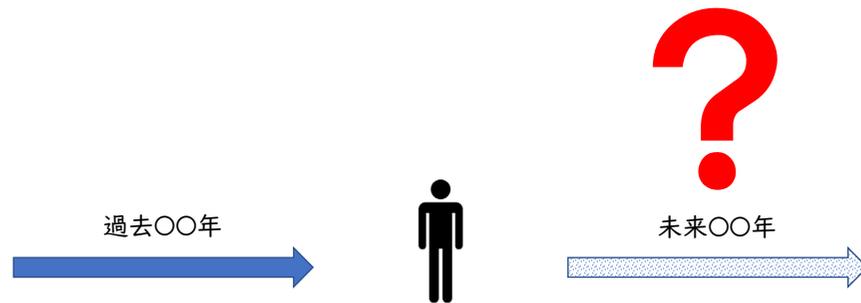
定まっていく未来を知る

• 今、定まっている未来もある

- 日々の情報を「今のこと」としてだけでなく、「未来のこと」として理解する

変化を具体的にイメージする

- 物心ついた頃を思い出してください
- その頃から現在までの年数でどのような変化が起きましたか？
- 同じ年数先の未来にはどのような変化が起ころうでしょうか？



自由記述から

- 未来思考という漠然としたイメージに具体例を持ってその在り方を提示していたこと。自身の行動の調整や本当の意味での未来思考について考える契機になった。
- 創造というキーワードを、未来に繋げて考える機会となってよかった。
- 授業のように堅苦しい内容でなく、自分自身に当てはまっている部分だったり今の自分を変えるにはどうしたらいいのか、そういった点で知識を増やすことができた。

導入によるカリキュラム上の意義

- 段階的な共通教育の実現
 - 1年生で終わらせない
- 選択科目の数のスリム化
 - 遠隔キャンパス間での授業実施が容易
- 海外留学中の学生の受講も可能
 - 既に試行版で複数の学生が海外から受講

必修開講に向けての課題

- オンデマンド授業としての魅力の向上
 - 学習への動機づけが重要
 - 様々なニーズに応えるような教材の充実
 - 今夏の試行版では電子教科書を導入予定
- 発展的な学習機会の提供
 - 少人数選択科目「未来思考ゼミ」の検討
- 生成AIとどのように付き合うべきか？
 - それ自体が未来思考を高める格好の素材
- 未来についてシリアスに受け止める学生
 - 最終レポート「2050年の自分の生活を物語として書きなさい」への悲壮な回答

「未来思考の教科書」(準備中)

• 2023年9月版構成

- 「未来思考とは」
- 「未来の兆候」
- 「未来の予測」
- 「創造の方法」
- 「未来に臨む姿勢」
- 「多様な人との協働」
- 「未来社会の倫理」
- 「未来思考の高め方」

• 今後執筆予定の章

- 「未来の論点」
- 「地球と生態系の未来」
- 「データの理解」
- 「コミュニティの形成」
- 「対話と熟議」
- 「未来社会を担う専門性」
- 「社会への発信」
- 「課題発見の方法」



未来思考
リテラシーの
教科書

2023年9月版

